

厚生労働科学研究費補助金 【エイズ対策政策研究事業】  
H I V検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究  
(分担)研究報告書

「地域一般住民の性サービスに関わる実態調査と受検勧奨」

研究分担者：土屋菜歩（東北大学東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門）

研究協力者：渡會 睦子（東京医療保健大学医療保健学部）

堅多 敦子（東京都保健福祉局）

今村 顕史（がん・感染症センター 都立駒込病院）

研究要旨

本研究は、地域一般住民を対象とした実態調査により、性サービスの利用や従事に関することを含む性行動と意識、HIVを含む性感染症とその検査に関する知識、受検行動を明らかにすることを目的としている。今年度は、次年度以降の本調査で用いるアンケート調査項目選定を主な目的とし、先行研究や報告のレビューおよび都内看護系大学生を対象にしたパイロット調査を実施した。

本邦における一般人口を対象とした性行動や性意識に関する調査・研究の報告書・文献のレビューにより、これまでに用いられてきた質問の項目や重点となる項目が明らかになった。一方、性産業の形態やインターネットに関連する情報収集等のツールについては、時代に伴う変化に合わせた項目設定が必要となる可能性が示唆された。今年度のパイロット調査では、インターネットやSNSの利用について先行研究に無かった選択肢も追加しており、パイロット調査の結果を見て来年度以降の本調査の項目を更に調整する予定である。

平成30年3月に看護系大学生を対象とした自記式・無記名のアンケート調査をパイロットで実施した。さらに、少人数を対象とした個別インタビューとグループディスカッションも実施し、アンケートの感想や内容で改善を要する点、設問・回答に関連する性行動・意識の詳細な情報を収集した。アンケートの説明文や選択肢で改善すべき点、盛り込むべき点が明らかになった。インタビューとディスカッションでは、選択肢を選ぶ際の回答者の思考の過程、説明文の解釈や回答の背景などの情報を得ることができた。来年度以降、今年度得られた情報をもとにアンケート項目を調整し、対象を更に広げた本調査を実施する予定である。

A.研究目的

我が国のHIV感染症においては性行為による感染が多くを占めるが、その流行の中心はMSMであり、対策もMSMに焦点を当てたものが多かった。一方で、近年の梅毒の流行では、20歳代を中心とした女性および30-50歳代男性の感染増加が問題となっている。HIVと同じ性感染症の急増するハイリスク層が、女性の中に潜在的に存在

しており、異性間感染のリスクの高い対象者への感染症のハイリスク層として性産業に従事する者とその顧客が知られている。性産業の形態やその従事者、顧客の特性は時代と共に変化している可能性が高く、実態を正確に把握することがより効果的な受検勧奨と予防啓発の対策立案に必須である。本研究では、地域一般住民を対象とした

実態調査により、性サービスの利用を含む性行動と意識、HIVや検査に関する知識を明らかにすることを目的とし、今年度は先行調査のレビュー及びパイロット調査として都内看護系大学生を対象としたアンケート調査を行った。

## B.研究方法

今年度は、次年度以降の本調査で用いるアンケート調査項目選定を主な目的とし、先行研究や報告のレビュー及び都内看護系大学生を対象にしたパイロット調査を実施した。

### ①過去の性行動に関する研究調査の報告書や論文についての文献レビュー

過去の報告書や関連の調査についてレビューを行い、重要と考えられる項目、時代に伴う変化が予想される項目を抽出し、本調査で用いるアンケート調査項目選定の参考とした。

### ②看護系学生に対するアンケート調査

①のレビューを参考にアンケートを作成し、事前に周知・募集に対して調査参加の意思を示した学生を対象としたアンケートのパイロット調査をH30年3月22-23日に実施した。質問紙は説明文を含め8ページで、質問項目としては、対象者自身の性行動、SNS等の利用状況、自身および周囲の金銭の授受を伴う性交渉経験の有無、HIV検査受検経験の有無、HIVを含む性感染症とその検査に関する知識、予防行動などを選定した。アンケートは自記式・無記名とし、結果は研究目的のみに使用され一切個人情報と結び付かないことを説明した上で実施した。回答者には謝礼として500円分のQUOカードが支払われた。

### ③性教育に携わる看護系学生に対する個別インタビューとグループディスカッション

H30年3月14日に1名につき30分程度の個別インタビューと、数名単位でのグループディスカッションを行った。インタビューとディスカッションの前にアンケートの記入を依頼し、アンケートの感想や改善点についての意見を求めた。ま

た、時代と共に変化が予想される、性行動、性に関する意識、SNSの利用状況等について、詳細な情報を収集した。アンケート調査と同様、インタビュー・ディスカッションの内容も研究目的のみに使用され一切個人情報と結び付かないことを重ねて説明した上で実施した。協力者には、謝礼としてQUOカード5,000円分が支払われた。

本研究におけるインタビューとディスカッション、およびアンケートのパイロット調査は東京医療保健大学倫理審査委員会の倫理審査を受け実施した。

## C.研究結果

### ①過去の性行動に関する研究調査の報告書や論文についての文献レビュー

本邦における一般人口を対象とした性行動や性意識に関する調査・研究は性教育、リプロダクティブ・ヘルス、性感染症予防の文脈で行われているものが多かった。デザインとしては単回の横断調査、数年おきの複数回横断調査が多く、近年はインターネットを用いて回答を行うインターネット調査が増加する傾向にあった。調査対象者の年齢は調査によって若干異なるものの、10代後半-60代までの年齢層を対象としたものがほとんどであった。過去の調査における共通の質問項目として、基本情報（性別、年齢、職業、学歴、婚姻状態、収入等）以外では以下のようなものがあつた。

- ・性交渉経験の有無
- ・初めての性交渉の年齢
- ・初めての性交渉の相手
- ・同性との性交渉経験の有無
- ・金銭のやり取りを伴う性交渉の有無
- ・性交渉の頻度
- ・コンドーム使用の有無
- ・コンドーム使用/非使用の理由
- ・性感染症検査受検経験の有無

また、一部の調査で共通している質問項目には、

・これまでに受けた性感染症予防に関する教育や啓発の内容とそれに対する意識

・PCやインターネットの利用状況

### ②看護系学生に対するアンケート調査

結果について現在集計作業中である。

### ③性教育に携わる看護系学生に対する個別インタビューとグループディスカッション

インタビューから、アンケートの説明文で分かりにくかった箇所、回答の選択肢が選びにくかったり不十分だと思われたりする箇所が明らかになった。性に関する意識・行動を詳細に問われる内容自体には抵抗感や不快感を持った協力者はいなかった。アンケート・インタビューの実施前に、研究者から回答内容は研究目的のみに使用され、回答内容等から個人が同定されたり第三者に回答内容を知られたりすることは無いことを説明されたことで、安心して回答できたという意見があった。

インタビュー・ディスカッションから得られた性行動・意識の詳細に関する情報は以下の通りであった。

・初めての性交渉の年齢は10代前半で経験する者、20代以降でも経験しない者に二極化しているが、女子学生においては双方の層がそのことで干渉し合ったりすることはあまりない。

・男性では「大学生のうちに童貞を捨てたい」「彼女ができたときに少しは慣れていないと困るので風俗で練習しておく」などの理由で性交渉の経験を急いだり、風俗の利用に繋がったりする場合がある。

・男性では、学校やバイト先などの先輩に勧められたり連れて行かれたりして風俗を利用するきっかけが生まれることがある。

・初めての性交渉の経験において、オーラルセックスの経験と挿入を伴う性交の経験の時期が年単位で離れている場合もあり、どちらを初めての性交渉と意識するかは個人によって異なる可能性がある。

・コンドームを女性側で購入することはほぼない

(購入したり、選んだりしているのを見られるのが恥ずかしい)

・初めてコンドームそのものを実際見たり手にしたりしたのは、性交渉で相手が使用したときだった。

・学校で性や性感染症について学ぶ機会はあったが、知識として「勉強する」感じであり、必ずしも自分のこととして感じられるものではなかった。

・もっと性や性感染症のことが身近に意識できるような情報提供が大切ではないか

・性に関する情報は身近な友人と交換することが多く(飲み会などが機会になることが多い)、雑誌やネットなどの媒体から積極的に情報を検索したりして得ることは少ない。

## D.考察とまとめ

先行研究のレビューにより、過去のアンケート調査で用いられてきた質問項目や着眼点が明らかになった。インターネットやSNSなどの情報リソース、利用している性産業・風俗の形態等は時代とともに変化しており、来年度以降の調査においては変化を反映した項目設定が必要になると考える。今年度のパイロット調査では、インターネットやSNSの利用について先行研究に無かった選択肢(facebook, LINE, twitter, instagramなど)も追加しており、パイロット調査の結果を見て来年度以降の本調査の項目を調整する予定である。

インタビューとディスカッション、パイロット調査からは、アンケートの説明文や選択肢で改善すべき点、盛り込むべき点が明らかになった。インタビューとディスカッションでは、選択肢を選ぶ際の回答者の思考の過程、説明文の解釈や回答の背景などの詳細な情報を得ることができた。来年度以降、今年度得られた情報をもとにアンケート項目を調整し、対象をさらに広げた本調査を行う予定である。

謝辞：調査にご協力くださった回答者の皆様，また，回答を呼びかけてくださった協力者の皆様に心から感謝申し上げます。

## E.文献

1. 徐淑子、東優子他 性娯楽施設・産業を利用する男性に関する研究. 平成 18～19 年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）日本の性娯楽施設・産業に係わる人々への支援・予防対策の開発に関する学際的研究」総括・分担研究報告書（研究代表 東優子）2007；2008
2. 野坂祐子、内海千種、東優子、徐淑子、洪井哲也 青年期女性における金銭が介在する性行動とセクシュアルヘルスの問題－携帯電話の web アンケートを用いた調査から－平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）日本の性娯楽施設・産業に係わる人々への支援・予防対策の開発に関する学際的研究」総括・分担
3. JEX の『ジャパン・セックス・サーベイ』からみる日本人の性行動の実態. 平成 25 年 7 月 1 日
4. 北村邦夫 「性感染症罹患者の性意識ならびに性行動様式に関する研究」報告（概要）. 現代性教育研究ジャーナル.2013; vol22
5. 木原正博，木原雅子他：日本の HIV/STD 関連知識，性行動，性意識についての全国調査－日本人の HIV/STD 関連知識，性行動，性

意識に関する性・年齢別分析. 厚生科学研究補助金 HIV 感染症の疫学研究班平成 11 年度報告書，2000.

6. 金子典代，塩野徳史，コーナ・ジェーン，新ヶ江章友，市川誠一：日本人成人男性における生涯での HIV 検査受検経験と関連要因. 日本エイズ学会誌 14：99-105，2012.
7. 「若者の性」白書 第 7 回青少年の性行動全国調査報告.2013
8. 北村邦夫：第 5 回男女の生活と意識に関する調査報告書，2011.
9. 東京都幼・小・中・高・心性教育研究会 2014 年度 児童・生徒の性に関する調査報告
10. 西村由実子、日高庸晴 日本の就労成人男性における HIV/AIDS 関連意識と行動に関するインターネット調査. 日本エイズ学会誌 15 (3) 183-193, 2013

## F.健康危険情報

該当なし

## G.研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし.

## H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

## HIVと性感染症に関する意識・行動のアンケート

この調査は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」(代表者:今村顕史)の一部である「地域一般住民の性サービスに関わる実態調査と受検勧奨」(分担研究者:土屋菜歩)で実施されるものです。

### <あなた自身のことについて>

1. 性別を教えてください。

男性 女性 その他

2. 年齢を教えてください。

( )歳

3. 今誰と住んでいますか。

1人暮らし 恋人/パートナー/配偶者と2人で 家族と2人以上で  
寮やシェアハウスなど多人数で その他( )

### <あなたの生活習慣および普段の行動について教えてください>

1. タバコ(電子タバコ、加熱式タバコを含む)を飲む頻度を下から選んで下さい。

全く吸わない 1カ月以上吸っていない ときどき吸う 毎日吸う  
その他( )

2. お酒を飲む頻度を下から選んで下さい。

全く飲まない 月2-3回飲む 週2-3回飲む 毎日飲む  
その他( )

3. 勉強や仕事以外でインターネットを使う時間を下から選んで下さい。

全く使わない 1時間未満 1時間以上2時間未満 2時間以上3時間未満  
3時間以上5時間未満 5時間以上

4. ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)の中で利用したことがあるものを、いくつでも選んで下さい。

Facebook Instagram Twitter LINE GREE  
ameba mixi Google+ モバゲー その他( )

5. 国内旅行に行く頻度を教えてください。



年2回以上行く 年1回くらい行く 2年以上行っていない

6. 海外旅行に行く頻度を教えてください。

年2回以上行く 年1回くらい行く 2年以上行っていない

7. あなたには今、次のような友人がいますか？

1) 学校や職場でよく話す友人

いる いないのでほしい いないが、特にほしいと思わない

2) 一緒に出かける友人

いる いないのでほしい いないが、特にほしいと思わない

3) なんでも打ち明けて話せる友人

いる いないのでほしい いないが、特にほしいと思わない

#### <性に関する意識と行動について>

1. あなたはこれまで性的なことに興味を持ったことがありますか。

ない ある

2. 性やセックスに関することを話す相手がありますか(複数回答可)。

いない 直接会う機会のある友人、知人 インターネットの中の友人、知人

学校や職場の先輩や後輩 兄弟、姉妹 親 学校の先生

その他( )

3. 性やセックスに関する情報はどこから得ていますか(複数回答可)。

新聞や雑誌の記事 その他の本 インターネット テレビ

アダルトビデオ マンガ 学校の授業 直接会う機会のある友人、知人

インターネットの中の友人、知人 学校や職場の先輩や後輩 兄弟、姉妹

親 学校の先生 その他( )

4. あなたは友人の性的な行動や経験が、どのくらい気になりますか。

非常に気になる 少しは気になる あまり気にならない 全然気にならない

5. あなたはインターネットや携帯電話などの「出会い系サイト」に興味を持ったことがありますか。

ない ある

6. あなたは「出会い系サイト」で次のような経験がありますか。

出会い系サイトの経験がない 出会い系サイトに接続したことがある

出会い系サイトを通じて誰かと知り合ったことがある

7. 「出会い系サイトを通じて誰かと知り合ったことがある」と答えた方にお聞きします。出会い系サイトで知り合った人とその後どのような関係になりましたか。(あてはまるものはいくつでもをつけて下さい。)

会わないがメールやチャットをする友人  電話で話す友人  会って遊ぶ友人  
 恋人、パートナー  セックスをする相手(セフレ)  その他( )

8. あなたは SNS で誰かと知り合ったことがありますか。

ない  ある

9. 「SNS で誰かと知り合ったことがある」と答えた方にお聞きします。SNS で知り合った人とその後どのような関係になりましたか。(あてはまるものはいくつでもをつけて下さい。)

会わないがメールやチャットをする友人  電話で話す友人  会って遊ぶ友人  
 恋人、パートナー  セックスをする相手(セフレ)  その他( )

10. これまでに性交渉(セックス)をしたことがありますか。

はい  いいえ(→<HIV/エイズ、性感染症の知識について>に進んで下さい)

11. 初めて性交渉(セックス)をしたのはいつですか。

15 歳未満  15-19 歳  20-24 歳  25 歳以上

12. 初めて性交渉(セックス)をした相手はどのような人でしたか。

恋人  婚約者、配偶者  友人  知り合い  
 ナンパ等で知り合ったその場限りの人  
 性産業(ソープランド、デリヘルなど)で働く人  
 お金や物をくれた相手  その他( )

13. 初めて性交渉(セックス)をした相手の年齢であてはまるものを選んで下さい。

自分より年上  自分より年下  同じ年  わからない

14. あなたは同性を好きになったことがありますか。

はい  いいえ

15. 同性と性交渉(セックス)をしたことがありますか。

はい  いいえ(→17に進んで下さい)

16. 初めて同性と性交渉(セックス)をしたのはいつですか。

15歳未満 15-19歳 20-24歳 25歳以上

17. あなたの友人や知人にお金や物品のやり取りを伴う性交渉(セックス)をしている人はいますか。

いる いると思う いないと思う いない

18. あなたはお金や物品のやり取りを伴う性交渉(セックス)をしたことがありますか。

お金や物品を与えて性交渉(セックス)をしたことがある  
お金や物品を受け取って性交渉(セックス)をしたことがある  
仕事として性交渉(セックス)をしたことがある  
上のいずれもない

<避妊、性感染症の予防について>

1. あなたは性交渉(セックス)をするとき、エイズや性感染症(性病)のことが気になりますか。

非常に気になる 少し気になる あまり気にならない 全然気にならない

2. あなたは性交渉(セックス)をするとき、妊娠の可能性が気になりますか。

非常に気になる 少し気になる あまり気にならない 全然気にならない

3. これまでの性交渉(セックス)で、コンドームを使用していましたか。

毎回使用していた 時々使用していた たまに使用していた ほとんど使用していなかった 全く使用していなかった

4. コンドームを使用するときの理由を教えてください。

性感染症予防のため 確実な避妊方法だと思うから 相手に言われたから  
セックスをした場所においてあった なんとなく この中にはない

5. コンドームを使わないときの最も大きな理由は何ですか。

値段が高い 買うのが恥ずかしい 面倒だ  
持っていなかった 使わない方が気持ちいい 相手がいやがる  
妊娠を希望している、妊娠してもよいと思っている 性感染症を心配していない  
失敗することがあると聞いたのでしても無駄だと思った  
痛くなるから 装着する前に冷静にならないといけない 見た目が悪い  
なんとなく その他 ( )



<HIV/エイズ、性感染症の知識について>

1. 下の性感染症について、知っていますか。それぞれについて最もあてはまるものを選んで下さい。

1) HIV/エイズ

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

2) 梅毒

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

3) クラミジア

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

4) 淋病(りんびょう)

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

5) 性器ヘルペス

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

6) 性器カンジダ症

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

7) 膣トリコモナス症

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

8) 尖型コンジローマ

聞いたこともない 名前は聞いたことがある どのような病気か知っている  
どのように予防すればよいか知っている。

2. HIV/エイズについて正しいと思うものを選んで下さい。

1) HIV とエイズは異なるものである

はい いいえ

2) HIV はオーラルセックスでは感染しない

はい いいえ

3) HIV に感染していても症状が出ずに気づかないことがある

はい いいえ

4) HIV 感染に気づかずにいると、セックスを通じて誰かにうつすことがある

- はい いいえ
- 5) HIV感染に気づいている人は、治療を継続することで血液からウイルスがほとんど見つからなくなる
- はい いいえ
- 6) セックスの相手が HIVに感染している場合でも、感染に気づき治療を継続している場合には、感染の可能性は非常に低くなる
- はい いいえ
- 7) 性感染症(HIV以外)にかかっていると、HIVに感染しやすくなる
- はい いいえ
- 8) HIVに感染していても、早期に治療を開始すれば、長く生きられる
- はい いいえ
- 9) HIVに感染していても、子どもを作ることができる
- はい いいえ
- 10) 通院し治療を受けても、HIV のプライバシーは守られ、役所、病院などから職場や学校に勝手に伝わらない
- はい いいえ
- 11) 自分の名前や住所を言わずに無料で HIV 検査が受けられる場所がある
- はい いいえ
- 12) HIV の治療費を安く抑えられる社会制度がある
- はい いいえ

3. 梅毒に関して正しいと思うものを選んで下さい。

- 1) キスでもうつることがある
- はい いいえ
- 2) 女性が梅毒に感染して気づかないまましていると、将来子どもができたときに子どもの体に影響が出ることがある
- はい いいえ
- 3) 梅毒に感染していても長期間症状が出ない場合がある
- はい いいえ
- 4) 梅毒は免疫がつくので一度感染して治療をすれば二度とかからない
- はい いいえ
- 5) 決まった相手とのセックスだけなら、梅毒の感染は心配しなくともよい
- はい いいえ
- 6) 自分が治療をすれば、パートナー(セックスの相手)は治療しなくともよい
- はい いいえ
- 7) 日本では梅毒の感染者数が 2010 年の約 10 倍になっている

はい いいえ

8)異性間での梅毒感染が増えている

はい いいえ

9)若い女性での梅毒感染が増えている

はい いいえ

10)自分の名前や住所を言わずに無料で梅毒の検査が受けられる場所がある

はい いいえ

#### <HIV/エイズの意識について>

1. あなたにとって、HIV は身近なものでか。

とても身近である 身近である あまり身近でない まったく身近ではない

2. 友人や知人に HIV に感染している人はいますか。

いる いると思う いないと思う いない

3. 自分は HIV に感染する可能性があると思いますか。

ある あると思う ないと思う ない

#### <HIV/エイズ、性感染症の検査について>

1. あなたはこれまでに HIV/エイズの検査を受けたことがありますか。

受けたことがある 受けたことがない

2. 「検査を受けたことがある」と答えた方にお聞きます。どこで受けましたか。

病院、クリニック 自分の住んでいる自治体の保健所、検査所

自分の住んでいる自治体以外の保健所、検査所 健診、検診会場

郵送で 海外で

3. 「検査を受けたことがある」と答えた方にお聞きます。検査を受けようと思ったきっかけは何ですか。

気になる出来事があった 気になる症状があった

パートナー(セックスの相手)が HIV に感染していることがわかった

パートナー(セックスの相手)に検査してほしいと言われた

TV やインターネット、雑誌などの記事を見て不安になった

病院や健診の検査に含まれていた 妊娠したため

結婚を考えたため 定期的に検査することになっている

その他( )

4. 最後に検査を受けたのはいつですか。

6カ月未満 6か月以上1年未満前 1年以上3年未満前 3年以上前

5. 「検査を受けたことがない」と答えた方にお聞きします。検査を受けようと思わなかった最も大きな理由は何ですか。

結果を知るのが怖いから 感染している可能性が無い  
あいまいなままにしておきたい 検査場所がわからない  
機会がなかった お金がかかる 周囲に HIV 感染者だと疑われる  
自分の性行動やセクシャリティを説明するのが面倒だから  
その他( )

6. 検査を受けたことがあると答えた方、ないと答えた方どちらにもお聞きします。検査を受けやすくなるのに必要だと思う条件は何ですか。(あてはまるものをいくつでも)

家や職場から近い 家や職場から遠い プライバシーが守られる  
自分の性行動や性的指向を批判されない 無料である  
詳しく説明が聞ける 相談ができる 日曜祝日も受けられる  
夜間に受けられる その日のうちに結果がわかる  
日常生活の中で、検査ができる場所など検査に関する情報が手に入りやすくなる  
日常生活の中で、HIV や性感染症に関する情報提供の場が増える  
その他( )

ご協力ありがとうございました。